

災害・健康危機管理

背景

世界保健機関（WHO）の第13次総合事業計画2019-2023年における3つの戦略的優先事項の1つは、さらに10億人の人々を健康危機から保護することです。この優先事項は、国、地方、そして世界の強靱な危機対応能力を構築および維持し、長期にわたって、深刻な危機にさらされている人々が必須の救命医療サービスを迅速に受けられるようにすることを目的としています。WHO神戸センター（WKC）は、災害・健康危機管理に関するWHOグローバルリサーチネットワーク（Health EDRM）の設立と運営など、科学的なエビデンスを積み上げて災害・健康危機管理を改善するという世界的なイニシアティブに貢献してきました。防災における保健セクターへのニーズは、第3回国連防災世界会議の成果文書である仙台防災枠組2015-2030（仙台枠組）で、また、2019年のWHO災害・健康危機管理（Health EDRM）枠組においても強調されています。WKCは、大災害への備え、対応、復旧についての幅広い経験を有する日本をはじめとする世界の専門家と継続的にかかわるユニークな立ち位置にあります。2018年に神戸で開かれた専門家会議、ならびに、2019年に淡路で開催された本グローバルリサーチネットワークの第1回代表者会議では、本研究領域の研究ニーズについて議論し、また、日本の教訓や経験に基づいて、2018年から2026年に取り組む複数の主要な研究分野を選定しました。また、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に関連した災害・健康危機管理の研究に対するニーズが高まっていることを受け、COVID-19対策を本研究分野に盛り込むことを検討しています。

主要研究分野

1. 本研究領域全体のギャップ分析とともに、研究手法の標準化や倫理的課題を整備すべく、研究計画・実施のメカニズムを構築する。
2. 災害時・災害後の保健医療データの収集と管理に関する最適なフォーマットと主要な内容を提供する研究を実施するとともに、研究手法の標準化および防災の準備、対応、復旧における健康の影響に関する比較解析を目指す。
3. 柔軟な保健制度を介した被災者の保健ニーズへの総合的なアプローチに焦点を当て、効果的な災害対応を可能とする科学的エビデンスに基づく政策立案を支援する研究を実施する。
4. 高齢者など脆弱な集団の特定の保健ニーズを調査する。

進捗報告（2019～2020年）

2019～2020年に終了した研究の成果（2つのプロジェクト）

2018年の神戸専門家会議では、災害・健康危機管理の研究手法の整備が進んでいないことが課題として取り上げられました。その後、WKCは、研究者、政府関係者、WHOの各地域の職員から構成される多分野の執筆者チームとともに**災害・健康危機管理のための研究手法に関するWHOガイダンス（2018～20年）**作成に着手しました。このガイダンスは、多様な状況下で各種研究を計画、実施、報告する方法について実践的な助言を提供することを目的としています。災害・健康危機管理に直接関係する事例研究では、実際の研究例を提供し、その方法と政策や事業への反映について解説します。このガイダンスは、2020年に完成予定です。ガイダンスは6つのセクションから構成され、全43章の執筆および査読には、30か国140名の国際専門家が、ならびに、WHO本部および各地域事務局の職員24名が参画しました。本ガイダンスの効果的な普及および利用を目的として、その実践的な利用のためのオンラインセミナーを各章の著者により企画の予定です。

兵庫県立大学および熊本大学による**地域の災害危機管理および特定の集団の保健ニーズに関する共同研究（2018～2020年）**は完了しました。研究チームにより災害後の高齢者のリスクと保健ニーズを特定するた

めの住民を対象とした調査が実施されました。本調査は2016年の熊本地震で最も大きな被害を受けた地域の1つである益城町の全住民を対象としました。調査結果は2019年にプロジェクト報告書および事業概要がまとめられました。現在、査読付学術誌への投稿論文を執筆中です。

進行中の研究（2019～2021年）と期待される成果（9つの研究プロジェクト）

COVID-19に関連した研究へのニーズが高まっていることを受け、**災害・健康危機管理のための研究手法に関する WHO ガイダンス**の改定版を、COVID-19に関連する章を加える形で2021年に発表する予定です。WKCはWHO本部および全地域事務局の同意を得て、2019年からTPRNの事務局を務めています。WHO本部と地域事務局の担当者を交え、グローバルリサーチネットワークの第1回**代表者会議**が2019年10月17日と18日に兵庫県淡路市で開催されました。代表者会議では、TPRNの活動範囲拡大を含む、**災害・健康危機管理に関する WHO グローバル研究課題**を設定する計画と手順を話し合いました。現在、本会議の成果をまとめた論文を執筆中です。会議報告書はWKCホームページに掲載しています。

2018年の神戸専門家会議の結果に基づき、4つの研究分野（健康データ管理、精神保健・心理社会的支援、脆弱な集団の健康ニーズと健康リテラシー、医療従事者の育成）において特定された研究ギャップとニーズに対処するために、2019年、WKCは災害・健康危機管理に関する研究を公募しました。以下4件の研究プロジェクトが採用され、現在、研究事業が実施されています。

中国、ベトナム、インドネシアの脆弱人口に対する**気候関連災害の影響と保健医療の適応策に関するスコoping・レビュー**は、グリフィス大学**環境・公衆衛生センター**により実施されています（2019～2020年）。本プロジェクトは、中国、インドネシア、ベトナムにおいて気候関連災害の被害を受けた脆弱人口への健康影響について検討し、健康リスクへの対策を明らかにすることを目的としています。研究事業の概要については、WKCホームページに掲載しています。本研究は2020年に完了し、査読付論文、政策概要の出版が予定されています。

2件目の研究プロジェクトは、**災害や健康危機後のメンタルヘルスの長期的予後の決定要因：システムティックレビューとアジア太平洋災害精神保健ネットワークの設立**です。カーティン大学、国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所、兵庫県こころのケアセンター、メルボルン大学、ハーバード大学により実施されています（2020～2021年）。本プロジェクトの目標は次の3点です。まず、災害・健康危機後数年間のメンタルヘルスの長期的経過に関連するリスクと保護要因を特定すること。次に、災害精神保健分野の研究における観察・評価に関するエビデンスの質を、「IASC（機関間常設委員会）緊急時における精神保健・心理社会的支援に関する共通モニタリング・評価フレームワーク」に沿って、評価すること。3つ目の目的は、アジア太平洋災害精神保健ネットワークを設立し、地域内のベストプラクティスを支援することです。本研究の概要はWKCホームページで閲覧できます。アジア太平洋災害精神保健ネットワークの設立に関する論文は2020年に査読付論文雑誌で発表されました。

3件目の研究プロジェクトは、**災害・健康危機管理における保健医療人材開発：文献レビュー、事例研究、専門家協議を通じた研究**です。本研究は、香港中文大学、ハーバード大学、四川大学、東北大学、兵庫県立大学、東ピエモンテ大学、フィリピン大学が実施しています（2020～2021年）。本研究の目的は、災害・健康危機管理に携わる保健医療人材の開発戦略を構築し、WHO全地域における各国保健省の政策や実践に資する情報を提供することにあります。本研究の概要はWKCホームページに掲載しています。研究ギャップおよび既存知識のマッピングに関する論文は、現在、学術誌への投稿に向け準備中です。

4件目の研究プロジェクトは、**危機・災害等の発生前・発生時・発生後の保健医療データ管理に関する系統的文献レビュー及び解決手法の国際社会実装に関する研究**です。本研究は、広島大学、産業医科大学、ジョンズホプキンス大学、兵庫県災害医療センター、吉備国際大学、モザンビーク保健省、DMAT事務局、WHO緊急医療チームにより実施されています（2020～2021年）。本プロジェクトでは、モザンビークと日本での災害対応から得られた教訓に関し、系統的レビューおよび事例研究を実施することにより、

標準的な保健医療データの収集体制を実装する際の推進要因および阻害要因を検討し、災害や危機の発生時および発生後の保健医療データ収集体制をエビデンスに基づき包括的に解明することを目標としています。研究概要は、WKC ホームページで閲覧できます。

COVID-19 パンデミックの状況の下、グローバルリサーチネットワークの**第2回代表者会議のオンライン開催が2020年9月に予定されています**。TPRN の活動計画や運営計画について必要とされる改善事項が議論されることになっています。災害・健康危機管理に関する知識とエビデンスについては、最新のデータベースの構築が必要です。また、WKC は、COVID-19 の観点からの災害・健康危機管理に関する情報提供においても、調整役となり貢献しています。WKC は、COVID-19 を考慮した災害・健康危機管理に関する重要な研究ニーズを特定するため、TPRN 参加者および代表者を対象にオンラインで調査を実施しました。この調査結果に基づき、2020年、COVID-19 パンデミック下における**防災の強化に重要な研究ニーズ**に着目した研究公募を行いました。政策や計画の推進を後押しする主要な研究分野4つに焦点を当てています。

- COVID-19 パンデミック下に災害や危機が発生した場合のリスクに対する、予防、準備、即応性を含む災害・健康危機管理のオールハザード・アプローチ
- COVID-19 パンデミックやその他の健康危機に関連するリスク管理のための、ガバナンス構造および社会全体でのアプローチ
- COVID-19 パンデミック発生前・発生時・発生後の地域のレジリエンス
- 関西地域におけるメンタルヘルスの課題

まず、2020年10月に応募全件について申請内容を精査し、通過したものについては内外の専門家による技術的審査を進める予定です。4つの各主要研究分野につき1件、すなわち少なくとも計4件の事業が採用され、2020～2022年に研究が実施される見込みです。

出版物

書籍

災害・健康危機管理のための研究手法に関する WHO ガイダンス

学術論文

1. Kayano R, Lin M, Shinozaki Y, Kim Y. Long-Term Mental Health Support After Natural Disasters: A Report From An Online Survey Among Japanese Experts. Under review by Internal Journal of Environmental Research and Public Health (IJERPH).
2. Chan EYY, Sham TST, Shahzada TS, Dubois C, Huang Z, Liu S, Hung KK, Tse SL, Kwok KO, Chung PH, Kayano R, Shaw R. Narrative Review on Health-EDRM Primary Prevention Measures for Vector-Borne Diseases. Int. J. Environ. Res. Public Health 2020, 17, 5981.
3. Chan EYY, Sham TST, Shahzada TS, Dubois C, Huang Z, Liu S, Hung KK, Tse SL, Kwok KO, Chung PH, Shaw R. Narrative Review on non-pharmaceutical behavioural measures for the prevention of COVID-19 (SARS-CoV-2) based on the Health-EDRM Framework. Under review by British Medical Bulletin.
4. Newnham EA, Dzidic PL, Mergelsberg E, Guragain B, Chan EYY, Kim Y, Learning J, Kayano R, Wright M, Kaththiriarachichi L, Kato H, Osawa T, Gibbs L. The Asia Pacific Disaster Mental Health Network: Setting a Health EDRM Mental Health Agenda. Int. J. Environ. Res. Public Health 2020, 17, 6144.

WHO と WKC のプロジェクト概要

Report of the 1st TPRN Core Group Meeting: https://extranet.who.int/kobe_centre/en/project-details/TPRN

Revised Operation plan of TPRN: https://extranet.who.int/kobe_centre/sites/default/files/TPRN_OperationPlan.pdf

Systematic Review and Implementation Research for Health Data Management (Health EDRM) Before, During and After Emergencies and Disasters: https://extranet.who.int/kobe_centre/en/project-details/h-edrm_area1

Determinants of long-term mental health outcomes after disasters and health emergencies: A systematic review and establishment of the Asia Pacific Disaster Mental Health Network: https://extranet.who.int/kobe_centre/en/project-details/h-edrm_area2

A Scoping Review of the Impacts of Climate-related Disasters and Health Adaptation on Vulnerable Populations in China, Viet Nam and Indonesia: https://extranet.who.int/kobe_centre/en/project-details/h-edrm_area3

Health Workforce Development in Health EDRM: Literature Review, Case Studies and Expert Consultations: https://extranet.who.int/kobe_centre/en/project-details/h-edrm_area4

研究公募

新型コロナウイルス感染症下における災害・健康危機管理に関する研究。公募期間は2020年8月5日から9月28日まで。2020年10月に選考を開始予定。

その他の活動

2019年7月、茅野龍馬医官は、イギリスのニューカッスル・アポン・タインで開催された **DwD-GCRF-UKADR-DRG-UKCDR 2019年国際会議**において、災害・健康危機管理に関するワークショップを主催しました。このワークショップで、グローバルリサーチネットワークおよびWKCの公募研究について紹介しました。20名を超える専門家からグローバルリサーチネットワークへの参加表明を得ました。

2019年12月、茅野龍馬医官は、阪神・淡路大震災25年記念事業として兵庫県神戸市で開催されたフォーラム「人を守る減災の科学」の招待講演で、災害・健康危機管理に関するWKCの研究事業およびグローバルリサーチネットワークについて発表しました。

2020年2月、茅野龍馬医官は、兵庫県神戸市で開催された第25回日本災害医学会において、災害・健康危機管理の研究および研究方法、グローバルリサーチネットワークに関するワークショップを主催しました。本ワークショップでは、国内の最新の研究プロジェクトと知見の概要について発表しました。ワークショップの成果をまとめた論文は、2020年10月に査読付学術誌へ投稿の予定です。

2020年3月、茅野龍馬医官は、アジア教育国際発展会議（オンライン開催）で、COVID-19と災害・健康危機管理に関する基調講演を行いました。